

単元名 私たちと現代社会

配当時間 12時間

- 単元の目標 (1) 現代の社会生活について、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 現代の社会生活などについて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
- (3) 私たちと現代社会について、現代社会にみられる課題の解決方法を考える活動を通して、主体的に社会に関わろうとする。

標準的な展開例

12220105_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 現代社会の特色を大まかに捉える。</p> <p>★「現代社会」とは、どのような社会だろうか。</p> <p>○資料を基に、現代社会の特色を表現する。</p> <p>○現代社会の課題について考える。</p> <p>○単元の学習問題をつかむ。</p> <p>●私たちが生きる現代社会には、どのような特色と課題があるのだろう。</p> <p>2 少子高齢化が進む日本社会の様子と課題について調べる</p> <p>★少子高齢化が進む日本の社会には、どのような変化と課題があるのだろう。</p> <p>○少子高齢化が進む日本の社会の様子を調べる。</p> <p>・このままだと、2065年には人口が約9000万人まで減少し、高齢者が人口の約4割を占めるようになる。</p> <p>○少子高齢化に対する取り組みについて調べる。</p> <p>3 情報化が進む社会と私たちの暮らしについて調べる。</p> <p>★情報化が進む日本の社会には、どのような変化と課題があるのだろう。</p> <p>○日常生活において、情報端末を使う場面や、使用して困ったことを発表する。</p> <p>○情報化が進む社会の様子について調べる。</p> <p>○情報化社会で必要なリテラシーや情報モラルについて考える。</p> <p>4 グローバル化する社会の様子と課題について調べる。</p> <p>★グローバル化が進む社会には、どのような変化と課題があるのだろう。</p> <p>○グローバル化する世界の変化について調べる。</p> <p>○グローバル化する世界の課題と、多様性の尊重について考える。</p> <p>5 持続可能な社会を実現するためにできることを考える。</p> <p>○資料①～③を見て、気付いたことを発表する。</p> <p>★持続可能な社会を実現するために、私たちにはどのようなことができるのだろう。</p> <p>○現代社会の課題を整理する。</p> <p>○社会の課題に対し、どのように社会参画をするとよいかを考え、話し合う。</p> <p>・グローバル化する社会の一員として英語の学習に力を</p>	<p>・教P. 6～P. 7</p> <p>・生徒のもつ「現代社会」という言葉に対するイメージを引き出す。</p> <p>・教科書に載っている漫画や例文を基に、既習の地理的分野、歴史的分野の内容もふまえて考えさせる。</p> <p>・教科書の漫画では、ほとんどのコマで現代社会のよい面に視点が向けられていることに気付かせ、「現代社会はよいところばかりなのだろうか。」と問いかける。</p> <p>・教P. 8～P. 9</p> <p>・少子化や高齢化が日本社会に与える影響を、推移や変化に着目して追究させる。(推移、変化)</p> <p>・アクティビティに取り組みせ、日本の人口の推移や将来推計について、資料から情報を読み取らせる。</p> <p>【評】日本の人口の推移や将来推計について、資料から変化や課題を読み取る活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・資料④を参考に、出産や育児を行いやすい社会づくりを進めることの大切さに気付かせる</p> <p>・教P. 10～P. 11</p> <p>・情報化による社会の変化を、位置や空間的広がりに着目して追究させる。(位置や空間的広がり)</p> <p>・情報端末の例としてはスマートフォンやパソコン、困ったことの例としてはSNSでのトラブルや迷惑メール等の事例が考えられる。</p> <p>・様々な場面でくらしが便利になる一方、個人情報やビッグデータとして記録される危険性があるといった二面性に気付かせ、多面的にまとめさせる。また、子どもから大人まで様々な年代の人が情報化の恩恵を受けていることに気付かせ、多角的にまとめさせる。</p> <p>・教P. 60～P. 61や、P. 86～P. 87の内容や実体験・既有知識等を用いて具体的に考えさせる。</p> <p>・教P. 12～P. 13</p> <p>・グローバル化による社会の変化を、地理・歴史的な視点に加えて、政治・経済など多様な視点に着目して追究させる。</p> <p>・資料を基に、観光や産業などの分野で世界の国々との結びつきが強くなっていることを、多面的に捉えさせる。</p> <p>・互いの個性、地域の文化、国の特徴を尊重し合うことの大切さを捉えさせる。</p> <p>・教P. 14～P. 15</p> <p>・歴史的分野と関連付け、それぞれの時代ごとに社会の状況に応じた課題が存在していたことに気付かせる。</p> <p>・現代社会の様々な課題を、持続可能性という観点から追究させる。(持続可能性)</p> <p>・これまでの公民の学習内容を振り返らせ、どのような課題があったかを発表させる。</p> <p>・話し合いの場面では、違う課題を選んだ生徒同士が同じグループになるよう意図的に編成するなどして、多様な考え方に触れられるよ</p>

入れ、海外に日本のことを発信したいという考えを聞き自分も見習いたいと思った。

6 現代社会の文化と私たちとの関わりについて調べる。

★文化は、私たちの考え方や社会生活に、どのような影響を与えているのだろう。

○文化が私たちに与える影響について調べる。

○現代社会における文化の発展と課題について考える。

○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。

■現代社会における文化には、どのような意義と影響があるのだろう。

7 日本の伝統文化の特徴と多様性について考える。

★日本の伝統文化には、どのような特徴と広がりがあるのだろう。

○日本の伝統文化について調べる。

○伝統文化が抱える課題について考える。

○文化の継承と創造の意義について知る。

8 グローバル化が進む社会と日本の文化について考える。

★グローバル化が進む社会の中で、日本の文化をどのように生かしていくとよいのだろう。

○グローバル化の進展による、日本の文化への影響について調べる。

○文化がグローバル化していく中で、気を付けなければならないことについて考える。

○グローバル化する社会の中で、日本の文化を受け継いでいくために大切なことについて話し合う。
・友達の考えを聞いて、日本の文化を世界に発信する中で、日本の文化のよさを再発見していくことが大切だと気付いた。

9 社会生活におけるきまりの意義について調べる。

★社会の一員として生きる私たちにとって、必要なものは何だろう。また、なぜそれが必要なのだろう。

○社会と私たちとの関わりについて調べる。

○様々な個性をもった個人が集まって社会生活を営むために必要なことを話し合う。
・社会には様々な人がいるので、互いに尊重し合って生

うにする。

【評】他者の考えも踏まえながら社会参画の方法について考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・教P. 18～P. 19

・文化には歴史があり、地域によって異なることを、位置や推移に着目して追究させる。（位置、推移）

・歴史的分野での学習と関連付け、「文化」とは衣食住をはじめ人間が創り上げたすべてのものや感じ方の総称であることに気付かせる

・資料⑨から、文化による影響は必ずしもよい面だけではないことに気付かせ、多面的に捉えさせる。また、「深めよう」について考えさせることで、宗教に対する捉え方は時代や立場によって変わることを想起させ、多角的に捉えさせる。

・教P. 20～P. 21

・日本の伝統文化の歴史や地域性について、位置や推移に着目して追究させる。（位置、推移）

・歴史的分野や地理的分野の内容と関連付け、外国の文化を取り入れながら日本独自の文化として昇華させてきたことや、同じ国内でも地域によって文化に違いがみられることを振り返らせる。

・アクティビティに取り組ませることで、自らの地域がもつ伝統に目を向けさせ、課題を自分ごととして捉えさせる。その際、地理的分野の「第4章 地域のあり方」の学習と関連付けることが考えられる。また、地域によっては地域読本などの副読本や、総合的な学習の時間とも関連付け、生徒たちに地域に目を向けさせる機会を与えたい。

・アクティビティの内容と関連付けながら「私たちと文化の創造」を取り上げることで、自らもまた文化の継承者かつ創造者であることに気付かせる。

・教P. 22～P. 23

・日本の文化について、地理・歴史的な視点に加えて、政治・経済など多様な視点に着目して追究させる。

・日本の文化が世界で広く受け入れられていることや、日常生活の中で異文化との交流が行われていることに気付かせる。

・文化の交流が、観光やスポーツ、宗教など、多様な面で行われていることを捉えさせる。

・相手の文化を尊重することや、造詣を深めて受け入れていくことが大切であることに気付かせる。

・これまでに「第1編 2章」で学習した文化についての学習内容も振り返らせて考えさせる。

・対話を促すことで自らの考えを深化させ、多様な考えを持つ人々と協働し、社会の課題に主体的に関わりようとする態度を育む。

【評】グローバル化する社会の中で、日本の文化を受け継いでいくために大切なことについて話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・教P. 24～P. 25

・社会のあり方やきまりの意義について、個人の尊重に着目して追究させる。（個人の尊重）

・家族については、当たり前存在であるが故にその意義や課題に気付きにくい。社会の基礎単位であることを踏まえどうあるべきなのかを、教科書の記述を基に考えさせたい。

・よりよい社会生活を営むためにはきまりが必要なことを理解させるとともに、資料⑤を使い、きまりにも性質の違いのあるものがあることに

活するためにはきまりが必要だ。

○社会生活ときまりについて、理解を深める。

○単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。

10 ■私たちにとって、きまりとはどのようなものなのだろう
「対立」と「合意」について考える。

★なぜ、社会では「対立」が起きるのだろう。また、「対立」を解消し、「合意」するためには、何が必要なのだろう。

○なぜ対立が生まれるのかを考える。

○対立を解消し、合意するための方法について知る。

○合意をするために大切なことは何かを考える。

11 「効率」と「公正」について考える。

★上手に合意をするためには、どのような考え方が大切なのだろう。

○「効率」と「公正」の考え方について調べる。

○「効率」と「公正」について、理解を深める。

○公正な社会をつくるために大切なことを知る。

12 きまりを守る責任と評価について考える。

★合意をした後は、どのようなことが大切なのだろう。

○きまりの評価と変更について知る。

○きまりの評価と変更について、理解を深める。

・③の視点から評価すると、購入者は薬剤師の名前などが分かり安心できるが、薬剤師からすると個人情報が入ターネット上に掲載されるのは嫌だと感じると思うので、このきまりはよくない。

○きまりを守る責任と契約について知る。

気付かせる。

【評】よりよい社会生活を営むために必要なことを話し合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・アクティビティに取り組みさせることで、習得した知識を活用させる。

・教P. 26～P. 27

・対立と合意の考え方や、合意する方法としての多数決の意義と課題について追究させる。

(対立と合意)

・社会は様々な利害関係で形成されており、意見や利害の違いによって問題や紛争が起こることに気付かせる。そして、それこそが「対立」であることを捉えさせる。

・アクティビティに取り組みさせることで、対立と合意を身近な問題として捉えさせる。

・アクティビティの内容をふまえ、様々な合意方法があり、それぞれによさや難点があることに気付かせる。また、少数意見を尊重する必要性を捉えさせる。それらを基に、「合意」に対して多面的・多角的に考えさせる。

・教P. 28～P. 29

・効率と公正の考え方や、公正な社会とはどのような社会なのかについて追究させる。(効率と公正)

・資料を基に、日常生活に置き換えて考えることで意味を捉えやすくする。ただし、日常的に使用される言葉の意味と必ずしも同じ意味で用いられていないことに注意する。

・特に資料②からは、「効率」と「公正」の両立を目指すことをしっかりとつかませる。

・アクティビティに取り組みさせることで、習得した知識を活用させるとともに、日常生活の様々な場面でこの考え方が活用できることを感じ取らせる。

・合意する際には、「効率」と「公正」から多面的に判断することや、様々な立場から多角的に考えることが大切であることをつかませる。

・教P. 30～P. 31

・対立と合意、効率と公正の考え方や、きまりを評価する視点を使い、きまりのあり方やつくり方について追究させる。(対立と合意、効率と公正)

・きまりとは、自らの行動や権利を制限・拘束するものと捉えがちであるが、きまりを守ることによってそれぞれの権利や利益、安全が保障されることに気付かせる。

・アクティビティに取り組みさせ、きまりの変更について五つの視点から多面的・多角的に評価させることで、習得した知識を活用させる

【評】きまりの変更について五つの視点から多面的・多角的に評価する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

・これまでの学習内容を整理し、これらを現代社会の見方・考え方の基礎となる「契約」という概念として捉え直させる。

【 備 考 】